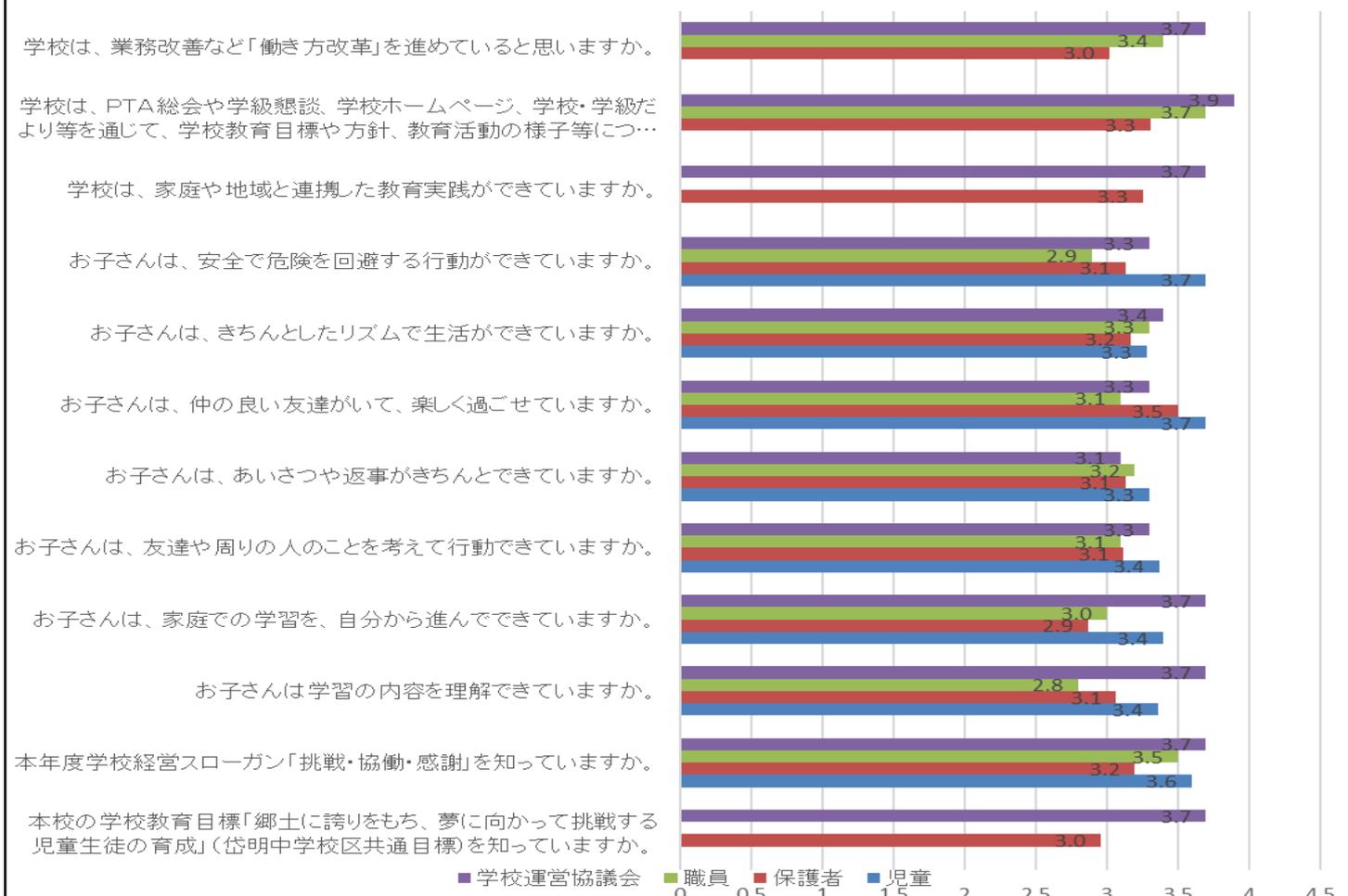


1 令和7年度学校評価(自己評価)の集計結果 1月実施

	評価項目	児童	保護者	職員	学校運営協議会
1	本校の学校教育目標「郷土に誇りを持ち、夢に向かって挑戦する児童生徒の育成」(岱明中学校区共通目標)を知っていますか。		3.0		3.7
2	本年度学校経営スローガン「挑戦・協働・感謝」を知っていますか。	3.6	3.2	3.5	3.7
3	お子さんは学習の内容を理解できていますか。	3.4	3.1	2.8	3.7
4	お子さんは、家庭での学習を、自分から進んでできていますか。	3.4	2.9	3.0	3.7
5	お子さんは、友達や周りの人のことを考えて行動できていますか。	3.4	3.1	3.1	3.3
6	お子さんは、あいさつや返事がきちんとできていますか。	3.3	3.1	3.2	3.1
7	お子さんは、仲の良い友達がいる、楽しく過ごせていますか。	3.7	3.5	3.1	3.3
8	お子さんは、きちんとしたリズムで生活ができていますか。	3.3	3.2	3.3	3.4
9	お子さんは、安全で危険を回避する行動ができていますか。	3.7	3.1	2.9	3.3
10	学校は、家庭や地域と連携した教育実践ができていますか。		3.3		3.7
11	学校は、PTA総会や学級懇談、学校ホームページ、学校・学級だより等を通じて、学校教育目標や方針、教育活動の様子等について家庭や地域へ伝えている。		3.3	3.7	3.9
12	学校は、業務改善など「働き方改革」を進めていると思いますか。		3.0	3.4	3.7

令和7年度学校評価集計結果



2 結果の考察（成果と課題）

保護者・児童・学校運営協議会の評価はほぼ昨年と同様で、「4よくあてはまる」「3だいたいあてはまる」等の肯定的な回答をいただき、良好な結果となりました。

（1）成果

- 学習面に関しては、保護者評価項目3「お子さんは学習内容を理解できていますか」、保護者評価項目4「お子さんは家庭での学習を自分から進んでできていますか」、児童評価項目2「わたしは授業で学習したことが分かります」、児童評価項目3「わたしは自分から家庭学習にきちんと取り組んでいます」についての評価項目は、昨年度と比べて高くなっていました。校内研究で、児童が主体的に学び、対話で深める授業実践に取り組みました。その中で、全ての担任がどの児童にも分かりやすい授業実践に向けて研究授業を行い、研究会では教育センターの指導主事や授業力向上アドバイザーに指導助言をいただくなどして職員の授業力を高めてきました。この一連の授業改善の成果と思われます。
- 学校生活に関しては、保護者評価項目8「お子さんは、きちんとしたリズムで生活していますか」、保護者評価項目9「お子さんは、安全で危険を回避する行動ができていますか」、児童評価項目8「わたしは、事故やけがにあわないように考えて行動しています」の評価が昨年度と比べて高くなっていました。避難訓練等における身の安全を考える取組や生徒指導担当を中心とした落ち着いた学校生活を送るための指導や支援等が功を奏したと考えています。

（2）課題

- ◆児童評価項目10「先生はわたしの悩みや相談にのってくれます」の項目が昨年度よりも下がっていました。学校では、教育相談やアンケート調査を実施してきました。ただ、児童にとっては十分なものではなく、「もっと先生にわたしを見てほしい。わたしの話を聞いてほしい」という思いの表れだととらえています。職員全員でこの評価結果を受け止め、引き続き、日頃から児童の悩みや困り感に積極的に寄り添う意識をもち、児童に関わっていきます。

（3）意見等

- 授業以外の時間も気を配っていただき、子どもに声かけをしていただいているようです。嬉しそうに話してくれ、とても楽しい学校生活を送っているなど感じます。ありがとうございます。
- 日頃より大変良くして頂いており感謝いたしております。先生方の働き方改革も含め児童に関わる時間確保の為に作業やサポート等、役員以外の保護者や地域の皆様にPTA等を通じ今まで以上に参加していただくよう積極的に進める必要があるのではないかと考えております。
- 睦合見守り隊の方が「学校からのお便りを子どもが届けてくれるため、話ができる」と喜ばれています。
- 図工等で必要な準備物は、もう少し早めに教えていただけると助かります。準備が間に合わない時があります。
→学級通信等で早めに家庭にお伝えできるようにしていきたいと思えます。
- いじめをなくして欲しい。
→教育相談やたまにゃんチェック等のアンケート調査と、日常的に児童の困り感へ寄り添うことを両輪として取り組み、いじめの未然防止に全力で努めていきます。
- 部活動を外部のコーチなど来ていただいて開始してほしい。
→文部科学省から出されているガイドラインに基づき、玉名市内では、小学校の学校部活動から社会体育クラブや地域クラブへの移行は完了しています。ご理解のほどをよろしく願います。玉名市から出されている「スポーツバイキング」のチラシ等を確認してください。
- 夏休みに学校や公民館など、みんなが集まる開放の場がほしい。
→休業中等の学校開放等は睦合小学校だけで決められる事項ではなく玉名市の承認等が必要となってきます。夏季休業中に児童が活動できるような冷房が供えられた施設の要望が保護者や地域住民から出されていることを玉名市教育委員会に伝えます。

（4）学校運営協議会委員から

学校運営協議会からは、以下の意見をいただきました。

- 学校・PTA・地域の連携がとてもよくできたモデル的な学校だと思います。
- 地域学校協働活動について、たくさんの方々の行事を地域の方々とともにされているのは、素晴らしいことです。伝統的な睦合小と地域が一体となった活動を今後も協力に進めてもらいたいです。
- ほぼ毎日、朝の登校時に自転車で見守っていますが、きちんと「あいさつ」ができる児童は3～4割しか見かけません。せめて8割を目指すような教育をお願いしたいです。あいさつが大きな声でできる人は、将来、必ず成功して人のリーダーにもなれると思います。
→児童評価項目5「わたしは自分からあいさつや返事がきちんとしています」のあいさつに関する項目でも評価が低くなっていました。学校では、総務委員会を中心にあいさつ運動の取組等を通してあいさつや返事の励行について意識を高めています。ただ、意欲的な児童とそうではない児童の二極化が見られます。今後も学校と地域が連携して、あいさつの意識を高めていく必要があると考えています。